

中国の文化IX 第11回

五代十国時代

書籍出版のはじまりと詞の隆盛

1600BC
1500BC
1400BC
1300BC
1200BC
1100BC
1000BC
900BC
800BC
700BC
600BC
500BC
400BC
300BC
200BC
100BC
0
100
200
300
400
500
600
700
800
900
1000
1100
1200
1300
1400
1500
1600
1700
1800
1900
2000

殷 1600BC頃-1046BC

周 1046BC-771BC

春秋戦国時代 770BC-221BC

秦 221BC-207BC

漢 206BC-220AD

魏 220-265 蜀 221-263 吳 222-280

晋 265-316

五胡十六国時代 東晋 317-420

北朝 439-589 南朝 420-589

隋 581-619

唐 618-907

五代十国 907-960

遼 北宋 960-1127

金 1115-1234 南宋 1127-1279

元 1271-1368

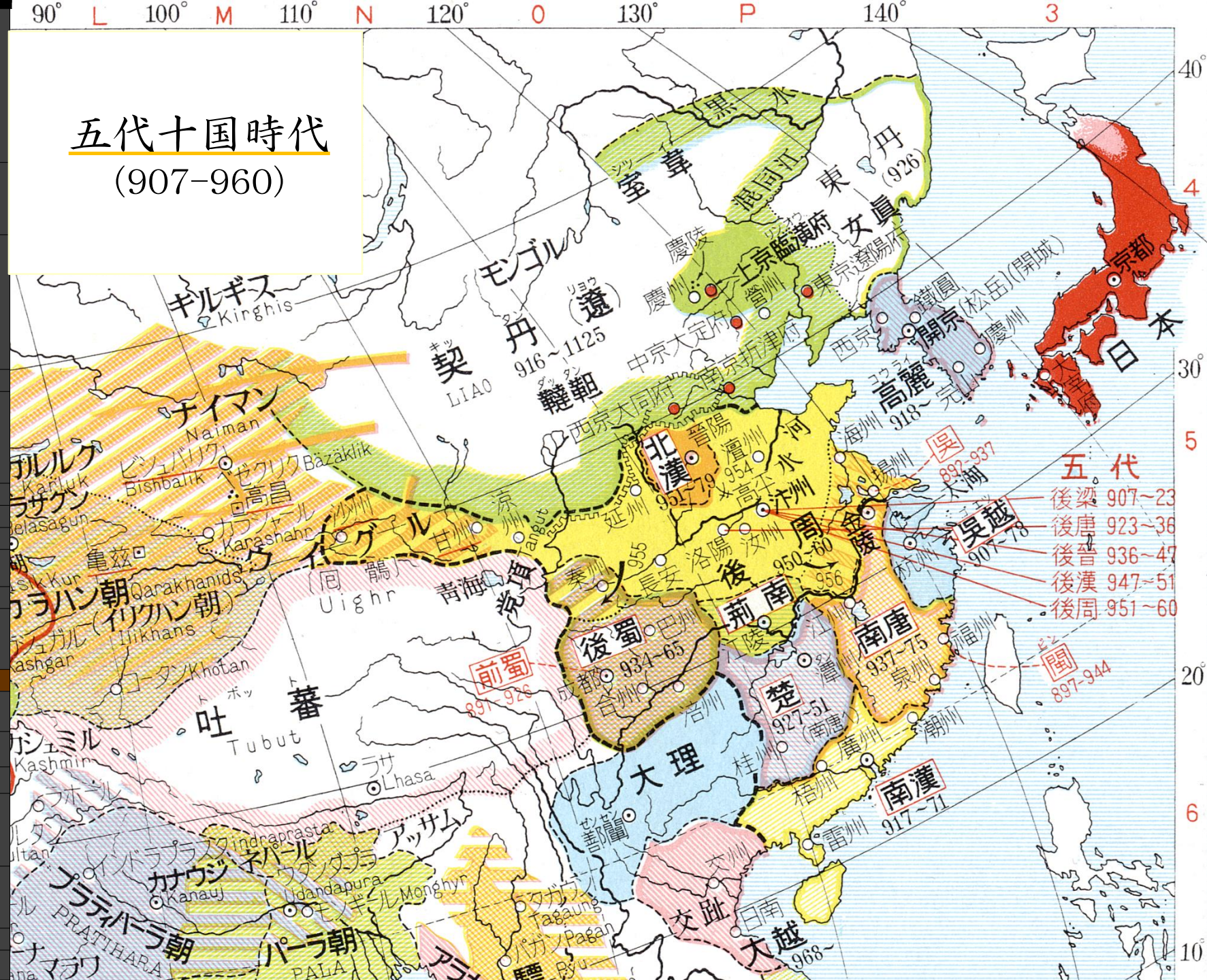
明 1368-1644

清 1616-1912

中華民国 1912-1949

中華人民共和国 1949-

五代十国時代 (907-960)



出版のはじまりと詞の隆盛

唐末から五代十国時代にかけて、中国は武人支配の時代を迎える。

武人の台頭により門閥貴族が没落すると、これに代わって新たな政治の担い手となったのが、科挙出身の文人官僚たちであった。

彼らは、科挙を通じて身分や家柄に関係ない平等な社会を築くため、唐末に民間で発達した印刷技術を使って知識の普及に努めた。書籍出版のはじまりである。

文学の世界では、格式ばった詩に代わり、庶民の間に生まれた詞が人々の心をとらえた。

講義内容

第一節 五代十国時代
～武人支配の時代

第二節 出版のはじまり
～写本の時代から刊本の時代へ

第三節 詩から詞へ
～南唐の後主・李煜の生涯とその詞

A stylized, dark-toned map of China and surrounding regions, including parts of Mongolia, Korea, and Japan. The map is rendered in shades of brown, green, and blue, with a textured, almost painterly appearance. It serves as the background for the text.

第一節

五代十国時代

武人支配の時代

1600BC
1500BC
1400BC
1300BC
1200BC
1100BC
1000BC
900BC
800BC
700BC
600BC
500BC
400BC
300BC
200BC
100BC
0
100
200
300
400
500
600
700
800
900
1000
1100
1200
1300
1400
1500
1600
1700
1800
1900
2000

殷 1600BC頃-1046BC

周 1046BC-771BC

春秋戦国時代 770BC-221BC

秦 221BC-207BC

漢 206BC-220AD

魏 220-265 蜀 221-263 吳 222-280

晋 265-316

五胡十六国時代 東晋 317-420

北朝 439-589 南朝 420-589

隋 581-619

唐 618-907

五代十国 907-960

遼 北宋 960-1127

金 1115-1234 南宋 1127-1279

元 1271-1368

明 1368-1644

清 1616-1912

中華民国 1912-1949

中華人民共和国 1949-

五代十国時代 (907-960)

中国が五代十国時代だったころ、日本は何時代？



中国大陸



朝鮮半島



日本列島



1600BC	殷 1600BC頃-1046BC		
1500BC			
1400BC			
1300BC			
1200BC			
1100BC	周 1046BC-771BC		
1000BC			
900BC			
800BC			
700BC			
600BC	春秋戦国時代 770BC-221BC		
500BC			
400BC			
300BC			
200BC			
100BC	秦 221BC-207BC		
0			
100	漢 206BC-220AD		
200			
300	魏 220-265	蜀 221-263	呉 222-280
400	五胡十六国時代		東晋 317-420
500	北朝 439-589		南朝 420-589
600	隋 581-619		
700	唐 618-907		
800			
900	五代十国 907-960		
1000	遼	北宋 960-1127	
1100		南宋 1127-1279	
1200	金 1115-1234		元 1271-1368
1300	明 1368-1644		
1400			
1500	清 1616-1912		
1600			
1700	中華民国 1912-1949		
1800			
1900	中華人民共和国 1949-		
2000			

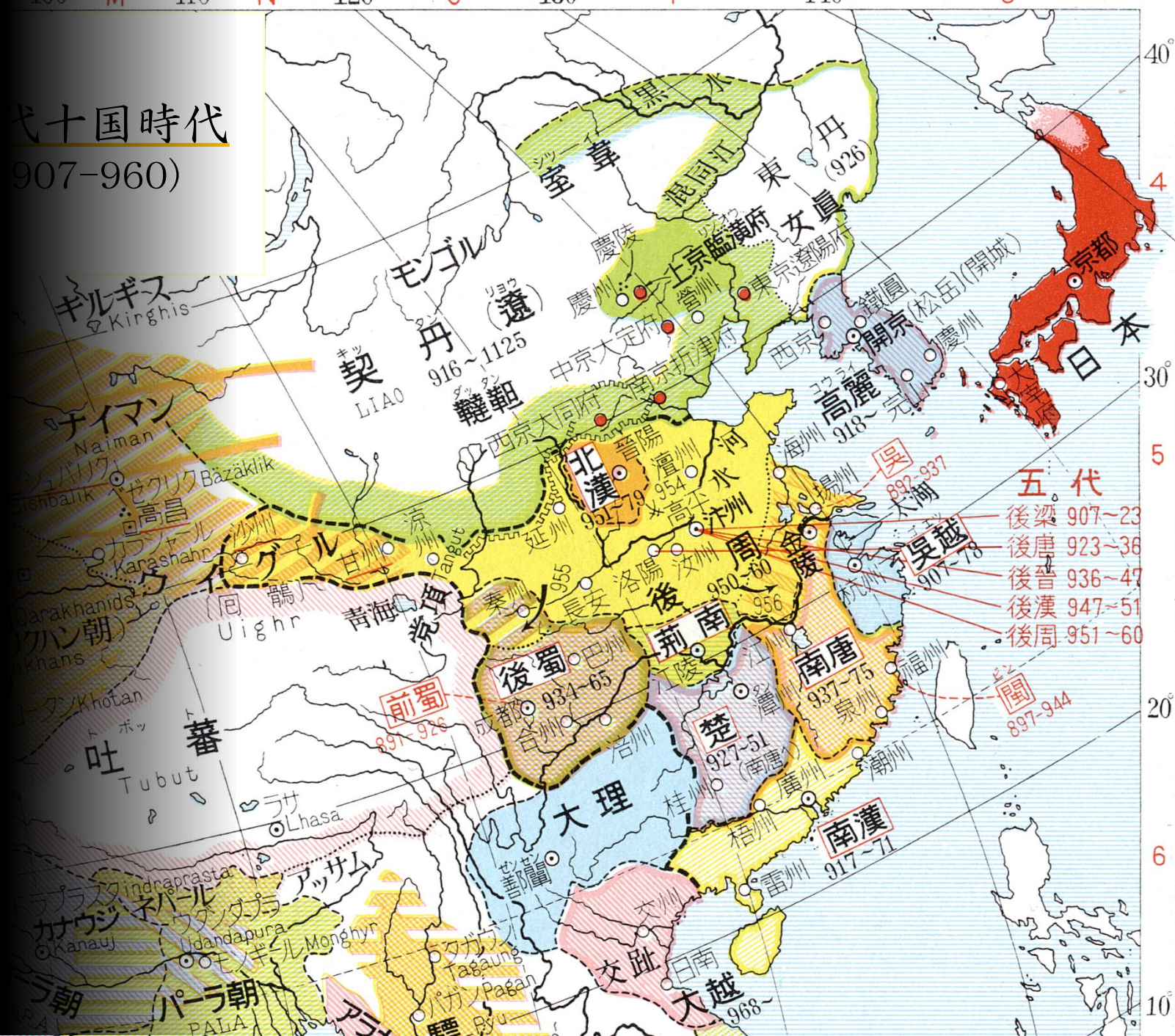


五代十国とは？

「五代」とは中原に興亡を繰り返した五つの王朝を指す。

これらの王朝はいずれも短命で、地方に支配が及ばなかったため、その後して十の地方政権が誕生した。これらを「十国」と呼ぶ(図中の□)。

五代十国時代
(907-960)



1600BC
1500BC
1400BC
1300BC
1200BC
1100BC
1000BC
900BC
800BC
700BC
600BC
500BC
400BC
300BC
200BC
100BC
0
100
200
300
400
500
600
700
800
900
1000
1100
1200
1300
1400
1500
1600
1700
1800
1900
2000

殷 1600BC頃-1046BC

周 1046BC-771BC

春秋戦国時代 770BC-221BC

秦 221BC-207BC

漢 206BC-220AD

魏 220-265 蜀 221-263 吳 222-280

晋 265-316

五胡十六国時代 東晋 317-420

北朝 439-589 南朝 420-589

隋 581-619

唐 618-907

五代十国 907-960

遼 北宋 960-1127

金 1115-1234 南宋 1127-1279

元 1271-1368

明 1368-1644

清 1616-1912

中華民国 1912-1949

中華人民共和国 1949-

五代十国時代
(907-960)

「唐宋変革期」

唐代以前—門閥貴族が政治の実権を握る

五代十国時代—門閥貴族が没落し文人官僚が実権掌握

宋代以降—皇帝の独裁体制が確立



中国大陸

朝鮮半島

日本列島

東アジアの武人支配

0	後漢 25-220	
100		
200	魏	蜀
	晋 265-316	
300		
400	北朝	南朝
500		
600	隋 587-618	
700	唐 618-907	
800		
900	五代十国 907-960	
1000	遼	北宋 960-1127
1100		
1200	金 1115-1234	南宋 1127-1279
1300	元 1271-1368	
1400		
1500	明 1368-1644	
1600		
1700	清 1636-1912	
1800		
1900	中華民国 1912-	
2000	中華人民共和国 1949-	

高句麗 BC37-668	
百濟 346-660	
新羅 356-935	
後高句麗	後百濟
高麗 918-	
武人政権 1170-1270	
元の属国 1270-1356	
高麗 1356-92	
李氏朝鮮 1392-1910	
日韓併合 1910-1945	
北朝鮮	大韓民国

弥生時代	
古墳時代	
飛鳥時代 592-710	
奈良時代 710-794	
平安時代 794-1185	
鎌倉時代 1185-1333	
室町時代	南北朝時代 1336-92
	戦国時代 1493-1590
安土桃山時代 1573-1603	
江戸時代 1603-1868	
明治 1868-1912	
大正 1912-1926	
昭和 1926-1989	
平成 1989-	

第二節

出版のはじまり

写本の時代から刊本の時代へ

印刷術の誕生と書籍出版の開始

武人の支配の下、門閥貴族に代わって政治の実権を握ったのは、科挙出身の文人官僚たちであった。彼らは家柄や身分に関係のない実力本位の社会を築くため、書籍の普及に努めた。そこで利用されたのが、中国の四大発明の一つ印刷術である。

印刷術の誕生時期については諸説があるが、敦煌石窟からは唐の咸通九年（八六八）に印刷された「金剛般若波羅蜜經」が発見されている。

書籍の出版は、唐代、民間を中心に実用化され、五代十国時代には各地に誕生した武人政権が文人官僚の要望を容れ、国家事業として儒教經典などの出版事業を始めた。

君之謚 孔子對曰舉直措諸枉

枉矯 諸宜則人不暇 措猶措也

諸之言於謂殺之、 於措者之上位 季康子敏使人敬中以勸

服之 子曰臨之以莊則敬孝慈則中舉

勸 印刷術が誕生する前、人々は

どのようにして書籍を手に入れ

ていたのか？ 子曰書云孝乎唯孝

信不知其可 大車無輓小車

行之哉 大車無輓小車羊車輓

十世可知 子曰親目於負

目於親礼所損益可知 目皆在可敬

雖百大可知 自周之後雖百世制度由可知以為意

而祭之者是訥 天日神地日祇仁曰鬼非其祖考而祭之

媚求福祀之福鄭易訪 祝州

1969年に新疆のアスターナ古墳で発見された唐代の論語の写本

1600BC	殷 1600BC頃-1046BC		
1500BC			
1400BC			
1300BC			
1200BC			
1100BC	周 1046BC-771BC		
1000BC			
900BC			
800BC	春秋戦国時代 770BC-221BC		
700BC			
600BC			
500BC			
400BC			
300BC	秦 221BC-207BC		
200BC			
100BC	漢 206BC-220AD		
0			
100			
200	魏 220-265	蜀 221-263	呉 222-280
300	晋 265-316		
400	五胡十六国時代		東晋 317-420
500	北朝 439-589		南朝 420-589 ●
600	隋 581-619		
700	唐 618-907		
800			
900	五代十国 907-960		
1000	遼	北宋 960-1127	
1100			
1200	金 1115-1234	南宋 1127-1279	
1300	元 1271-1368		
1400	明 1368-1644		
1500			
1600			
1700	清 1616-1912		
1800			
1900	中華民国 1912-1949		
2000	中華人民共和国 1949-		

梁の袁峻

写本の時代

袁峻^①、字は孝高。陳郡陽夏の人である。(中略)峻は早くに両親を亡くしたが、志は篤く、学問を好んだ。家が貧しく書物がなかったため、いつも人から借りて写すのを日課としていた。

毎日五十枚ずつ、所定の枚数を満たす

までけつして休むことはなかった。十六始移墓所經營改葬不資諸父未幾皆畢繪常歎腹之少好學能屬文起家爲司徒法曹行參軍不就天

監初以臨川王妃弟故自征虜梁書卷西九袁峻伝

累遷尚書庫部侍郎丹陽尹丞太子太傅丞尚書殿中

【注釈】

時郎南徐州台中以公事免久之爲太子洗馬掌書記

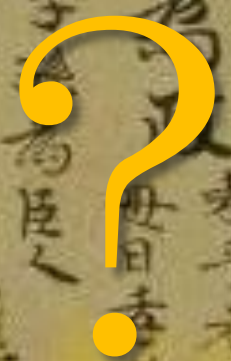
^①袁峻・南朝梁の武帝に仕えた文官

侍講壽光殿自高祖即位引後進文學之士苞及從兄

孝綽從弟孺同郡到溉溉弟洽從弟沆吳郡陸倕張率並以文藻見知多預讌坐雖仕進有前後其賞賜不殊天監十年卒時年三十臨終呼友人南陽劉之遴託以喪事務從儉率苞居官有能名性和而直與人交面折其非退稱其美情無所隱士友咸以此歎惜之

袁峻字孝高陳郡陽夏人魏郎中令渙之八世孫也峻早孤篤志好學家貧無書每從人假借必皆抄寫自課日五十紙紙數不登則不休息訥言語工文辭義師剋京邑鄱陽王恢東鎮破岡峻隨王知管記事天監初鄱陽國建以峻爲侍郎從鎮京口王遷郢州兼都曹參軍

君之諡 孔子對曰舉直措諸枉
枉者諸宜則人不服
諸之言於謂殺之
於措者之上位
季康子敏使人敬中以勸
服之
子曰臨之以莊則敬孝慈則中舉
勸
印刷術は、唐代、中国で發明
されたが、なぜ唐代にそれが必
要となつたのか？
書云孝乎唯孝



信不知其可 大車無輓小車
行之我 大車無輓小車輓
十世可知 子曰親目於夏
目於親礼所損益可知
雖百大可知
而祭之者是訥
易損益之損益於三王亦不是過
天日神地日祿仁日鬼非其祖考而祭之
媚求福祀之福鄭易訪フ 礼州

1969年に新疆のアスターナ古墳で発見された唐代の論語の写本

1600BC
1500BC
1400BC
1300BC
1200BC
1100BC
1000BC
900BC
800BC
700BC
600BC
500BC
400BC
300BC
200BC
100BC
0
100
200
300
400
500
600
700
800
900
1000
1100
1200
1300
1400
1500
1600
1700
1800
1900
2000

殷 1600BC頃-1046BC		
周 1046BC-771BC		
春秋戦国時代 770BC-221BC		
秦 221BC-207BC		
漢 206BC-220AD		
魏 220-265	蜀 221-263	呉 222-280
晋 265-316		
五胡十六国時代		東晋 317-420
北朝 439-589		南朝 420-589
隋 581-619		
唐 618-907		
五代十国 907-960		
遼	北宋 960-1127	
金 1115-1234		南宋 1127-1279
元 1271-1368		
明 1368-1644		
清 1616-1912		
中華民国 1912-1949		
中華人民共和国 1949-		

印刷術の誕生

三蔵法師が百万枚の普賢菩薩像を印刷

大慈恩寺三藏法師傳卷第三

沙門惠立本

釋彦棕箋

起阿踰陀國終伴爛拏國

自此東南行六百餘里渡疏伽河南至阿踰陀

國中印度寺百餘所僧徒數千人大小衆衆大

城中有故伽藍是伐獼股度菩薩唐言也親舊曰婆薮股三摩口

天親於此制大小衆論及爲衆誦聚城西北四

五里臨疏伽河岸大伽藍中有窣堵波高二百

餘尺无憂王所建佛背三月說法處其旁又有

過去四佛經行處城西南五六里有故伽藍是

大慈恩寺三藏法師傳

(唐)沙門惠立本・釈彦棕箋

三藏法師の名で知られる唐代の

僧・玄奘(六〇二〜六六四)の事跡を弟

子の慧立(えりゆう)と孫弟子の彦棕が

著した行状記。全十卷。

前半五卷は、十数年におよぶ天竺

(インド)への求法巡礼行記で、後半五

卷は帰国後、請来した經典の漢訳に

半生をかけた行状記。

日本の興福寺に一〇七一年の写本

が伝わっている。

(北宋)紙本版画普賢菩薩騎象像(清涼寺藏・国宝)



仏教の普及と印刷術の発展

大帝①は法師が先朝に重んじられていたため、即位の後、ますます(法師を)敬った。……(法師は)十俱胝②すなわち百萬の像③を造ることを発願し、それを成し遂げた。

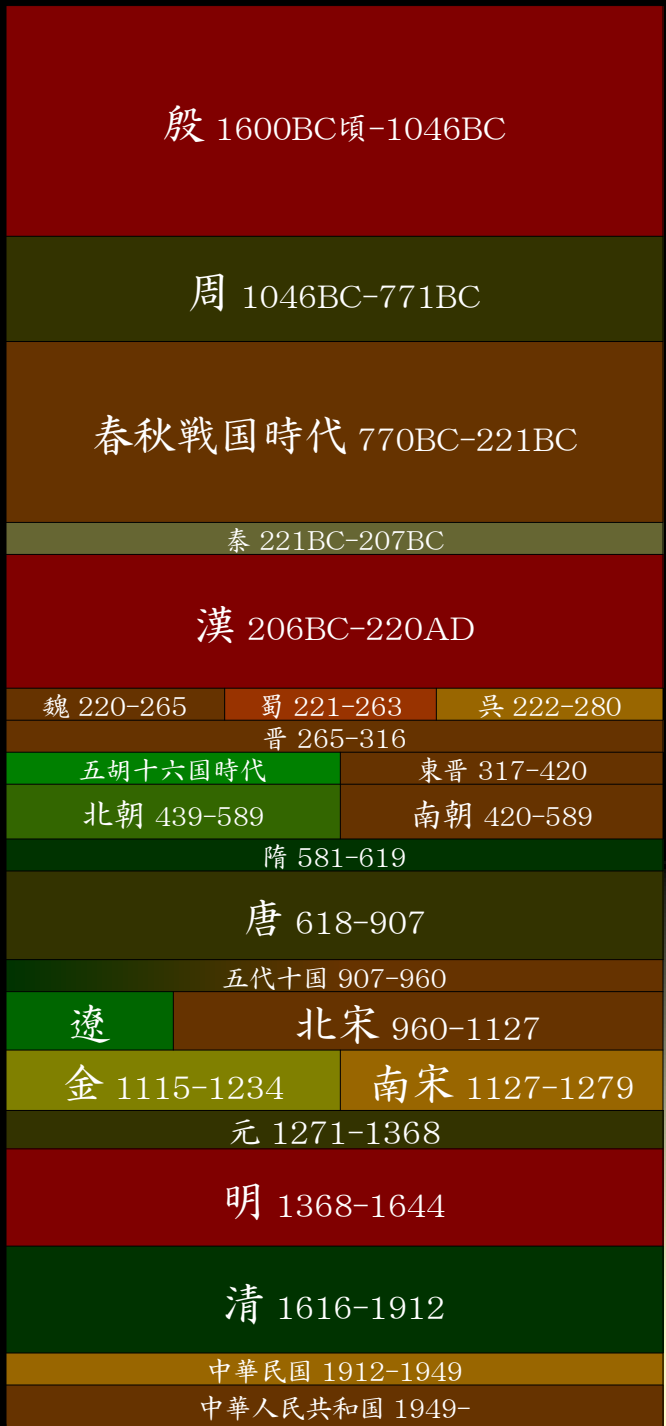
(唐)沙門惠立本釈彦悰箋

『大慈恩寺三藏法師伝』卷十

【注釈】

- ①唐の第三代皇帝・高宗。
- ②俱胝、梵語で十万の意。
- ③五代の馮贇の雲散錄卷五によれば、三藏法師は普賢菩薩像を印刷し、僧侶や信徒に配布したという。

1600BC
1500BC
1400BC
1300BC
1200BC
1100BC
1000BC
900BC
800BC
700BC
600BC
500BC
400BC
300BC
200BC
100BC
0
100
200
300
400
500
600
700
800
900
1000
1100
1200
1300
1400
1500
1600
1700
1800
1900
2000



現存する最古の印刷物はどこにあるのか？

①中国が主張する世界最古の印刷物



1974年、西安市西郊の唐代の墳墓で
梵文陀羅尼咒の版本が発見される

梵文陀羅尼咒(ボンブングラニジュ)

一九七四年、西安市西郊の唐代の墳墓から発見された単頁の印刷物。二七センチ×二六センチ。「呉徳(冥)福」の四字が墨書されているところから、被葬者は呉徳という人物であつたことがわかる。

同時に出土した腕輪や銅鏡の様式や印刷に使われた紙の特徴などから、中国の考古学会ではこれを唐代初期のものと推定し、現存する世界最古の印刷物と主張している。



②韓国が主張する世界最古の印刷物

1966年、韓国の慶州にある仏国寺の釈迦塔から
無垢浄光大陀羅尼経が発見される



慶州仏国寺の無垢淨光大陀羅尼經

一九六六三、
迦塔から木
発見された
唐でこの
のが七〇一
が建立され
(七五一年)
究者はこれ
物だと主張

延摩醯首羅及天
龍八部等咸礼佛足
同聲白言我等已
蒙世尊加護福此
呪法及造塔法咸皆
守衛住持讀誦書寫
供養為護一切諸衆生
故於後時令彼衆
生悉得聞知不墮地
獄及諸惡趣我等為
報如來大恩咸共守護
令廣流通尊重恭敬
如佛无異不令此法而
有壞滅佛言善哉
善哉汝等乃能堅
固守護住持如是陀
羅尼法時諸大衆聞
佛說已歡喜奉行
無垢淨光大陀羅尼經

仏国寺の釈
陀羅尼經が
翻訳された
この釈迦塔
徳王一〇年
韓国の研
最古の印刷

資料映像：韓国観光公社「仏国寺と石窟庵」より

トハラ
(Tukhara)

無垢浄光大陀羅尼經の東伝

慶州仏国寺で発見の
無垢浄光大陀羅尼經
(751年?)

唐

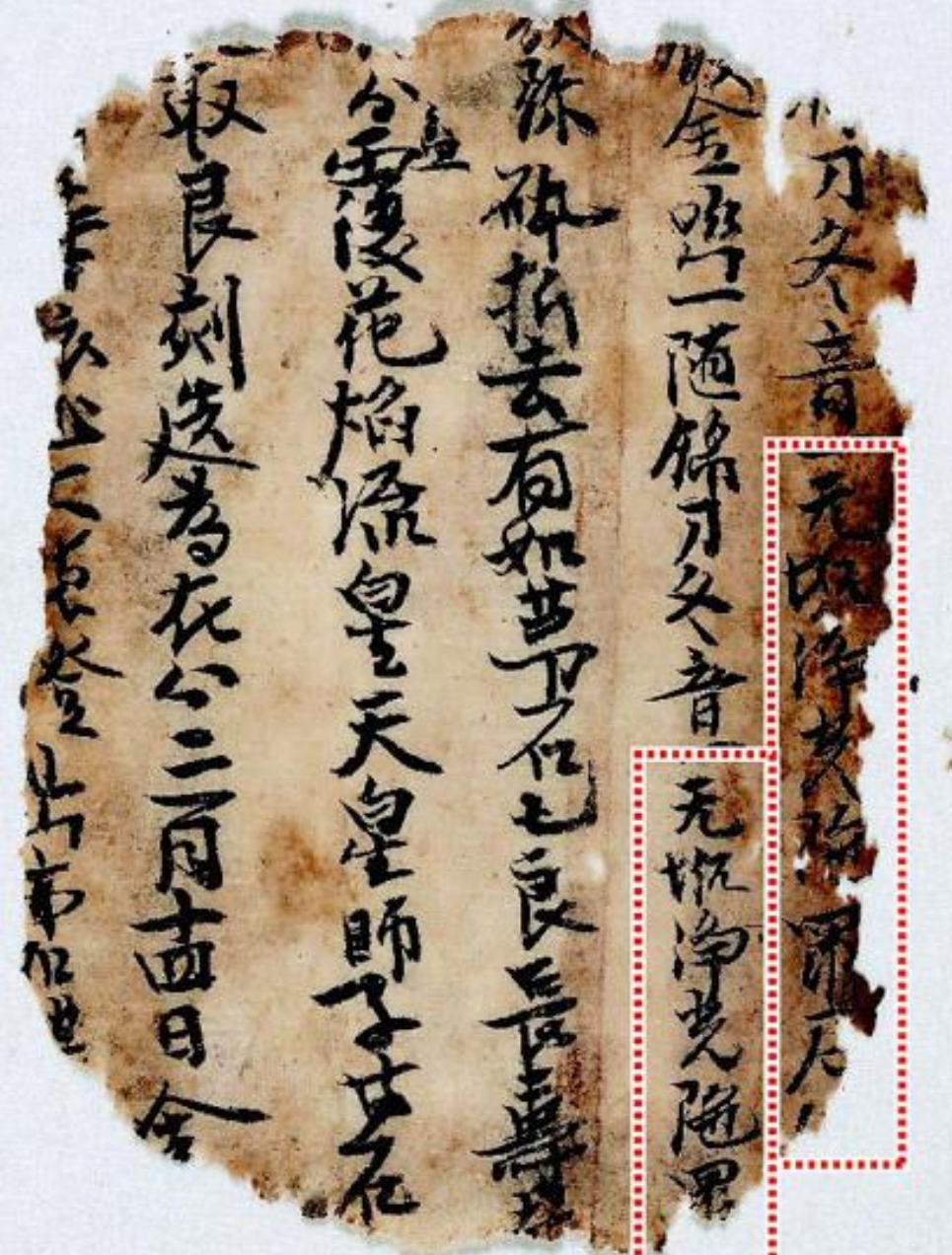
則天武后が法蔵とトハラからの渡来僧・弥陀山
に無垢浄光大陀羅尼經を重訳させる(701年)



墨書紙片が投げかけた疑問点

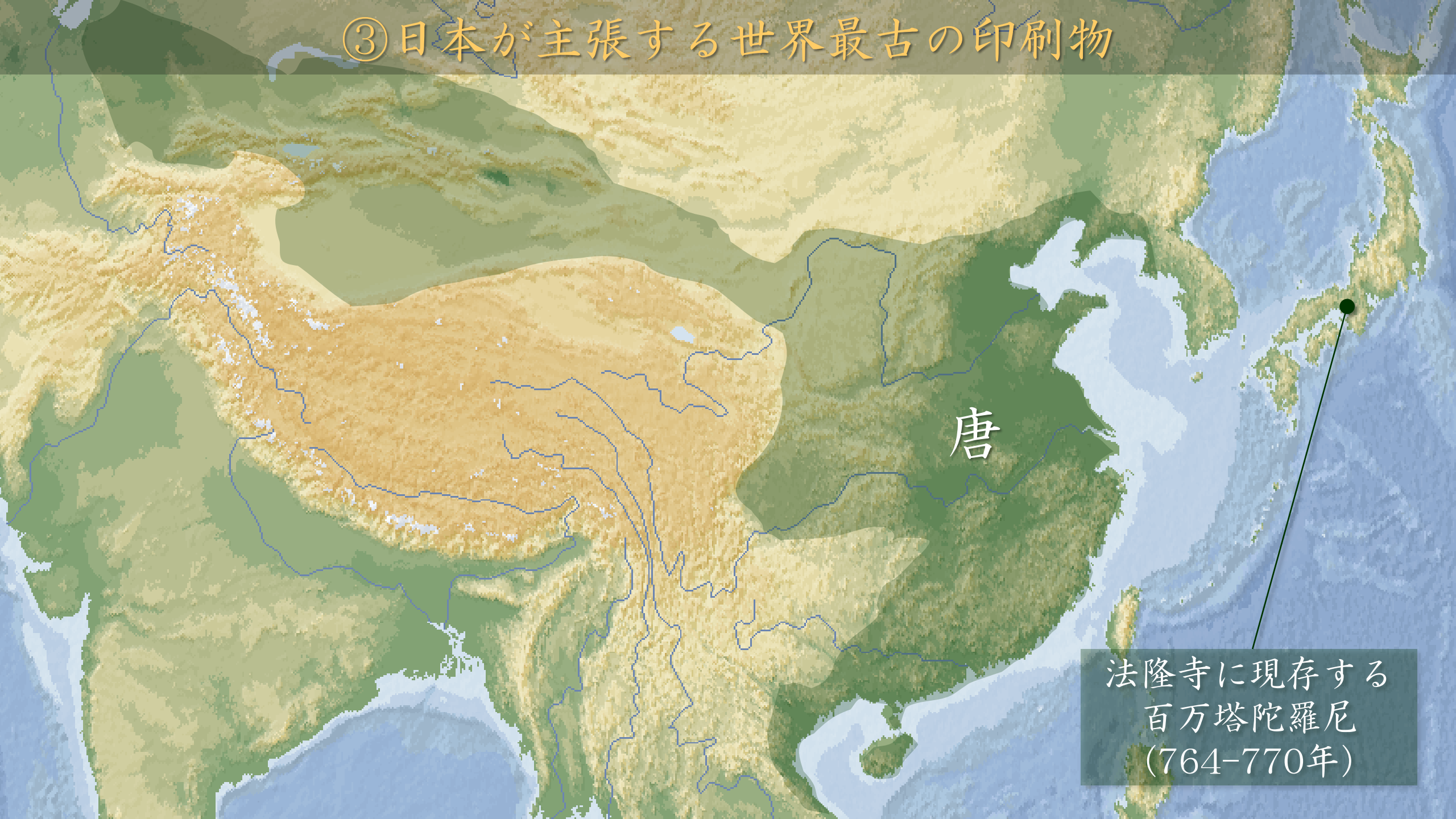
無垢浄光大陀羅尼經が発見されたとき、一つの紙塊が発見された。

墨書紙片と呼ばれるこの紙塊が近年解読され、その中から高麗時代の太平四年（一〇二四年）に釈迦塔が改修され、その際に無垢浄光大陀羅尼經二種を納めたという記録が見つかった。



墨書紙片から発見された釈迦塔重修記

③日本が主張する世界最古の印刷物



唐

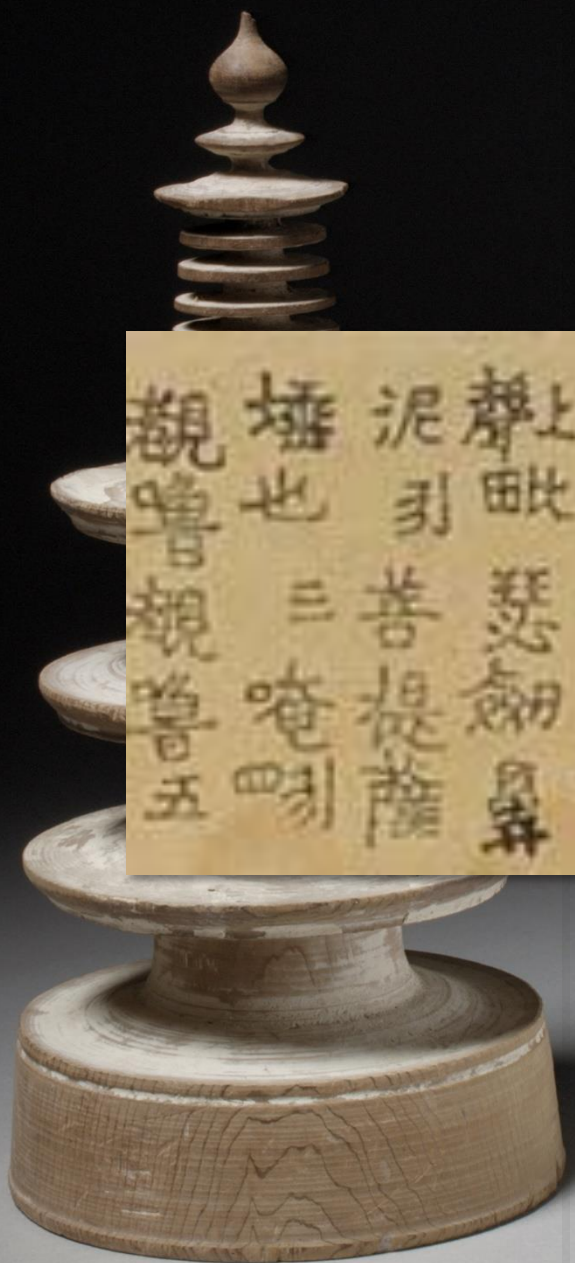
法隆寺に現存する
百万塔陀羅尼
(764-770年)

法隆寺に伝わる百万塔陀羅尼

奈良時代
押勝の乱の
七〇年まで
て三重小塔
中に印刷し
納めて十七
法隆寺に
塔と無垢塔

無垢淨光經
自心印施羅尼
南護薄伽伐
帝納婆納伐
底喃一三菲
三佛地俱嚴
那廣多設多
索訶薩羅尼
喃二南護薩
婆伽伐羅摩
上毗瑟劍鼻
聲毗瑟劍鼻
泥引菩提薩
埵也三唵唎
觀摩觀摩五

八皇は恵美
年から七
を費やし
せ、その
羅尼經を
千基の小
現存する。



制作年が明らかな最古の印刷物

戊午^①、初め天皇、八年の乱^②平ぎて乃ち弘願を発して三重小塔一百万基を造らしむ。高さ各四寸五分。その径三寸五分。露盤の下に各根本・慈心・相輪・六度等の陀羅尼を置く。ここに至りて功畢りて諸寺に分置す。

続日本紀卷三十

【注釈】

①神護景雲四年、宝龜元年(七七〇年)四月二十六日

②天平宝字八年(七六四年)に惠美押勝(藤原仲麻呂)が起こした反乱

姓○巳酉授無位紀朝臣豐賣從五位下○壬子授正八位上道公張弓從五位下以貢獻也
○戊午初 天皇八年乱平乃發弘願入造三重小塔一百万基高各四寸五分基三寸五分露盤之下各置根本慈心相輪六度等陀羅尼至是功畢分置諸寺賜供事官人巳下仕丁巳上一百五十七人爵各有差○五月乙丑始聽諸國國師乘驛朝集○庚午以從五位下田上王爲縫殿頭從五位下真立王爲造酒正從五位下笠朝臣乙麻呂爲伊豆守從五位上大伴宿祢駿河麻呂爲出雲守正五位上大伴宿



library 001

百万塔/無垢浄光経自心印陀羅尼

資料映像：岩瀬文庫「百万塔陀羅尼」より

トハラ
(Tukhara)

無垢淨光大陀羅尼經の東伝

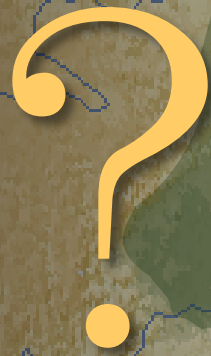
慶州仏国寺で発見の
無垢淨光大陀羅尼經
(751年?)

唐

則天武后が法蔵とトハラからの渡来僧・弥陀山
に無垢淨光大陀羅尼經を重訳させる(701年)

称徳天皇が恵美押勝の乱の鎮定後、
無垢淨光大陀羅尼經を百万部を印刷(764-770年)

印刷された年が明記された最
古の印刷物は？



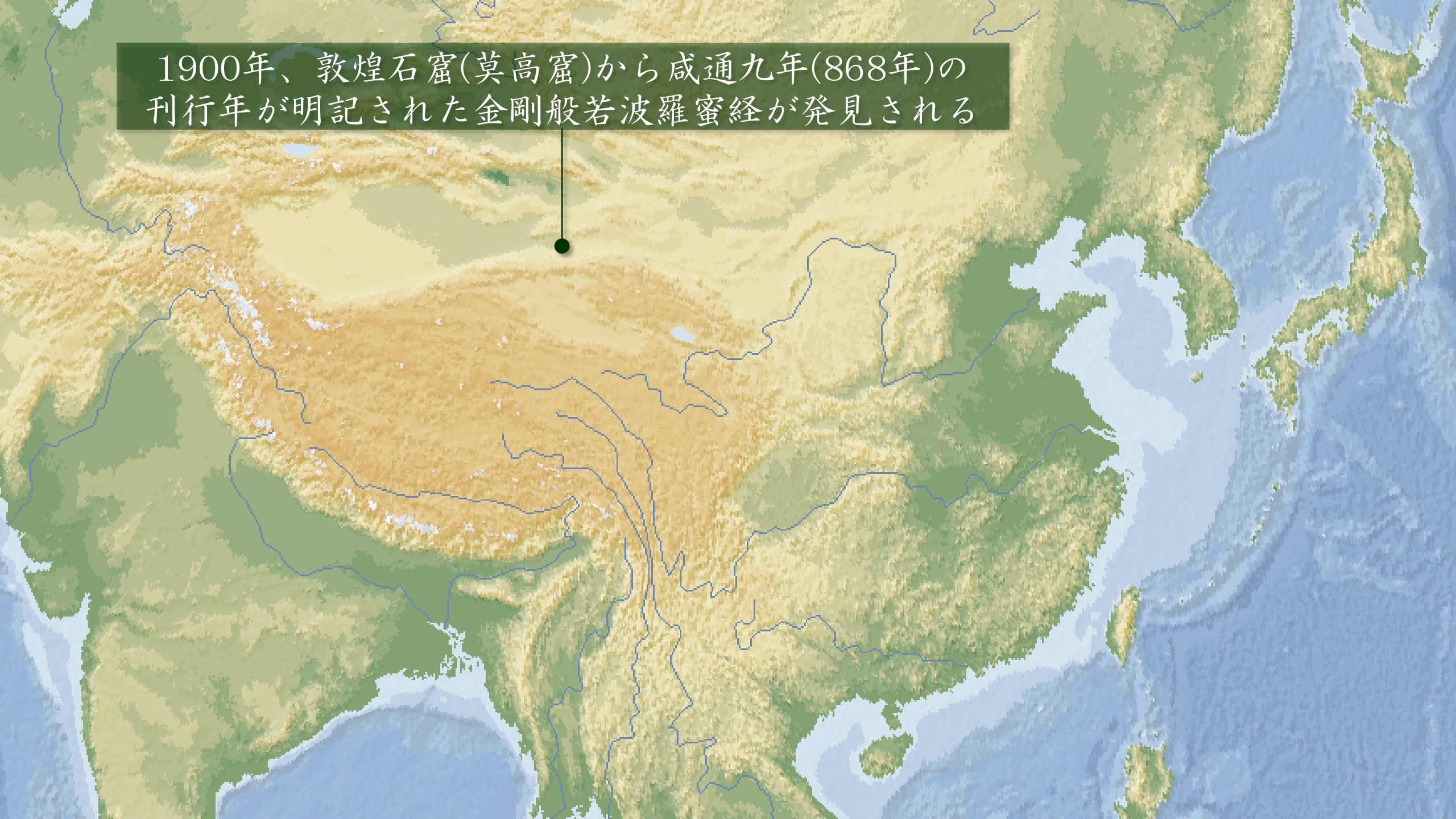
唐

1600BC	殷 1600BC頃-1046BC		
1500BC			
1400BC			
1300BC			
1200BC			
1100BC	周 1046BC-771BC		
1000BC			
900BC			
800BC			
700BC			
600BC	春秋戦国時代 770BC-221BC		
500BC			
400BC			
300BC			
200BC			
100BC	秦 221BC-207BC		
0	漢 206BC-220AD		
100			
200			
300			
400			
500	魏 220-265		
600	蜀 221-263		
700	呉 222-280		
800	晋 265-316		
900	五胡十六国時代		
1000	東晋 317-420		
1100	北朝 439-589		
1200	南朝 420-589		
1300	隋 581-619		
1400	唐 618-907		
1500			
1600			
1700			
1800			
1900	五代十国 907-960		
2000	遼		
	北宋 960-1127		
	金 1115-1234		
	南宋 1127-1279		
	元 1271-1368		
	明 1368-1644		
	清 1616-1912		
	中華民國 1912-1949		
	中華人民共和國 1949-		

印刷術の誕生

金剛般若波羅蜜經(868年、刊行年を明記)

1900年、敦煌石窟(莫高窟)から咸通九年(868年)の
刊行年が明記された金剛般若波羅蜜経が発見される





敦煌莫高窟第17窟(藏經洞)前に置かれた敦煌文書

金剛般若波羅蜜經

龜茲国出身の鳩摩羅什が五胡十六

金剛般若波羅蜜經

釈迦と十大弟子の一人・須菩提の
問答のようすが克明に描かれている。



長老須菩提

鉢入舎衛大城之食持其城中次第乞已還至本處
飯食訖收鉢洗足已敷座而坐時長老須菩提在大
衆中即從坐起偏袒右肩右膝著地合掌恭敬而
白佛言希有世尊如來善護念諸菩薩善付囑諸
菩薩世尊善男子善女人發阿耨多羅三藐三菩

阿耨多羅三藐三菩提心者於一切法應如是
金剛般若波羅蜜經

相者如來說即非法相是名法相

須敦煌莫高窟第十七窟で発見された
木版の印刷物。子善女人發菩薩心者持於
此經乃至四句偈等受持讀誦為人演說其
福甚大卷末に「咸通九年（八六八）四月十五
日、王玠が両親のために謹んで製造、
寄進した」という刊記があり、刊行
年月日が明記された印刷物としては、
世界最古のものである。

金剛スラインによつて英國に持ち出さ

れ、現在は**大英図書館**に所蔵されて

いる。鄭譯法師 跋帝 鉢羅若 鉢羅蜜多曳

囉伊哩帝 伊失哩 式囉馱 毗舍耶 毗舍耶
娑婆訶

咸通九年四月十五日王玠為

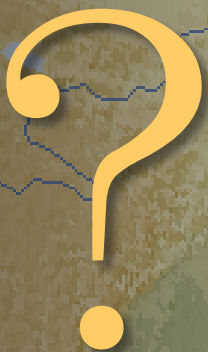
二親敬造普施

壽 啓 不 審 近 日

尊 體 何 似 伏 惟 倍 加

重 下 情 禱 望 謹 狀

書籍の出版はいつごろ始まったのか？



日本の留学僧が見た初期の出版物

1600BC	殷 1600BC頃-1046BC		
1500BC			
1400BC			
1300BC			
1200BC			
1100BC	周 1046BC-771BC		
1000BC			
900BC			
800BC			
700BC			
600BC	春秋戦国時代 770BC-221BC		
500BC			
400BC			
300BC			
200BC			
100BC	秦 221BC-207BC		
0	漢 206BC-220AD		
100			
200			
300			
400			
500	魏 220-265	蜀 221-263	吳 222-280
600	晋 265-316		
700	五胡十六国時代		東晋 317-420
800	北朝 439-589		南朝 420-589
900	隋 581-619		
1000	唐 618-907		
1100			
1200			
1300			
1400			
1500	五代十国 907-960		
1600	遼	北宋 960-1127	
1700	金 1115-1234		南宋 1127-1279
1800	元 1271-1368		
1900	明 1368-1644		
2000			
	清 1616-1912		
	中華民國 1912-1949		
	中華人民共和国 1949-		

印刷術の誕生

日本留学僧が長安で刊本を書写(865年)



日本の留学僧が唐の都長安で唐韻、
玉篇の版本を書写(865年)

日本の僧が見た初期の印刷物

西川印子唐韻一部五卷
同印子玉篇一部三十卷

右の雑書は、仏教の要籍ではない
が、大唐の咸通六年(八六五)六月から
十月まで、長安城右街の西明寺で、
日本留学僧円載法師が書写した雑書
の目録は右のとおり。

新書写請来法門等目録①卷一

【注釈】

①平安初期の僧・宗叡(しゅうえい)が入唐した際(八
六二〜八六五年)に請来した密教典籍などの目録

民間での書籍出版の始まり

1600BC	殷 1600BC頃-1046BC		
1500BC			
1400BC			
1300BC			
1200BC			
1100BC	周 1046BC-771BC		
1000BC			
900BC			
800BC			
700BC			
600BC	春秋戦国時代 770BC-221BC		
500BC			
400BC			
300BC			
200BC			
100BC	秦 221BC-207BC		
0	漢 206BC-220AD		
100			
200			
300	魏 220-265	蜀 221-263	呉 222-280
400	晋 265-316		
500	五胡十六国時代		東晋 317-420
600	北朝 439-589		南朝 420-589
700	隋 581-619		
800	唐 618-907		
900	五代十国 907-960		
1000	遼	北宋 960-1127	
1100	金 1115-1234		南宋 1127-1279
1200	元 1271-1368		
1300	明 1368-1644		
1400			
1500			
1600	清 1616-1912		
1700			
1800			
1900	中華民國 1912-1949		
2000	中華人民共和国 1949-		

印刷術の誕生

日本留学僧が長安で刊本を書写(865年)

四川の民間で実用書が出版される(883年)



民間での書籍出版のはじまり

唐代の末、黄巢が率いる反乱軍が都・長安に侵攻し、僖宗とその家臣たちは八八一年に蜀（四川省）へと逃れた。

僖宗とともに避難した柳玭は、柳氏家訓序の中で、占いや字典、手習いなどの実用書が民間で出版されていたようすを伝えている。

四川省成都で占いや字典、手習いなどの実用書が出版される(883年)

八各部隨帙刻印板廣頒天下如諸色人要寫經書並請依所印刻本不得更使雜本交錯 愛日齋叢鈔云通鑑載後唐長興三年二月辛未初令國子監校定九經雕印賣之又曰自唐末以來所在學校廢絕蜀毋昭裔出私財百萬營學館且請板刻九經蜀主從之由是蜀中文學復盛又曰唐明宗之世宰相馮道李愚請令判國子監田敏校定九經刻板印賣從之後周廣順三年六月丁巳板成獻之由是雖亂世九經傳布甚廣王仲言揮塵錄云毋昭裔貧賤時嘗借文選于交遊間其人有難色發憤異日若貴當板以鏤之遺學者後仕王蜀爲宰相遂踐其言刊之印行書籍創見于此事載陶岳五代史補後唐平蜀明宗命太學博士李鏐書五經仿其製作刊板于國子監爲監中刻書之始 猗覺寮雜記云雕印文字唐以前無之唐末益州始有墨板後唐方鏤九經悉收入間所有經史以鏤板爲正見兩朝國史此則印書已始自唐末矣案柳氏家訓序中和三年癸卯夏鑾輿在蜀之三年也余爲中書舍人旬休閱書于重城之東南其書多陰陽雜記占夢相宅九宮五緯之流又有字書小學雕板印紙浸染不可盡曉葉氏燕語正以此證刻書不始于馮道而沈存中有謂板印書籍唐人尚未盛行爲之自馮瀛王始印五經自後典籍皆爲板本大槩唐末漸有印書特未盛行後人遂以爲始于蜀也當五季亂離之際經籍方有託而流布于四方天之不絕斯文信矣 甲戌靈武

民間での書籍の印刷と出版 誅党項阿

中和三年(西曆八八三年)夏、陛下が蜀に移られて三年目のことである。当時、中書舎人の役にあつた私は、十日に一度の休みを利用して、重城の東南に本を見にいった。

本の多くは陰陽雜記、占夢、相宅、九宮五緯の類で、ほかに字書や手習いの本もあつた。どれも木版で刷られいたが、墨がにじみ、よく判読できなかつた。

民間での書籍出版の始まり

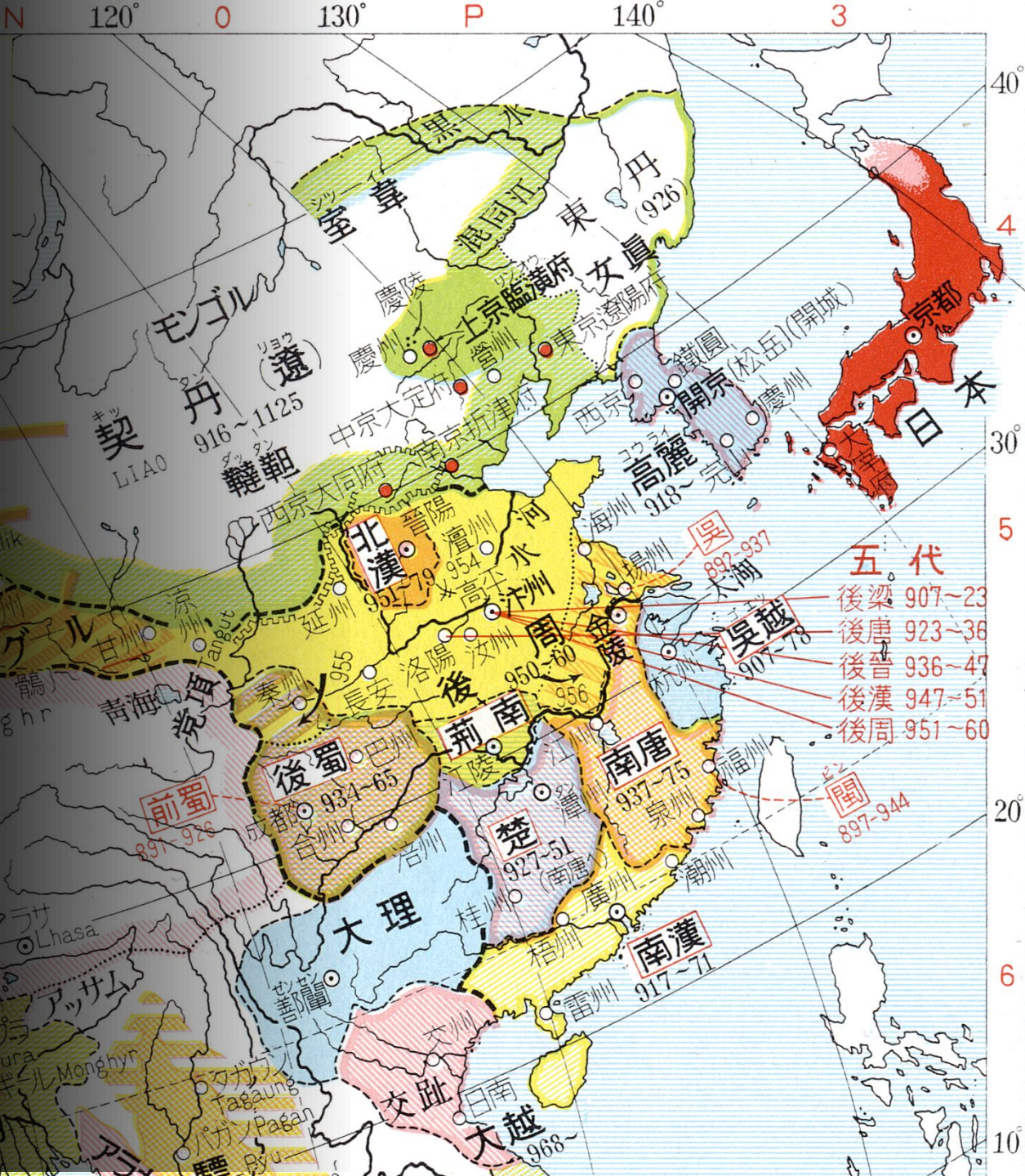
1600BC	殷 1600BC頃-1046BC		
1500BC			
1400BC			
1300BC			
1200BC			
1100BC	周 1046BC-771BC		
1000BC			
900BC			
800BC			
700BC			
600BC	春秋戦国時代 770BC-221BC		
500BC			
400BC			
300BC			
200BC			
100BC	秦 221BC-207BC		
0	漢 206BC-220AD		
100			
200			
300			
400			
500	魏 220-265 蜀 221-263 吳 222-280 晋 265-316		
600			
700			
800			
900			
1000	五胡十六国時代 東晋 317-420		
1100	北朝 439-589 南朝 420-589		
1200			
1300			
1400			
1500			
1600	隋 581-619		
1700	唐 618-907		
1800			
1900			
2000			
2100			
2200	五代十国 907-960		
2300	遼 北宋 960-1127		
2400			
2500			
2600			
2700			
2800	金 1115-1234 南宋 1127-1279		
2900	元 1271-1368		
3000			
3100			
3200			
3300			
3400	明 1368-1644		
3500			
3600			
3700			
3800			
3900	清 1616-1912		
4000			
4100			
4200			
4300			
4400	中華民國 1912-1949		
4500			
4600			
4700			
4800			
4900	中華人民共和國 1949-		
5000			
5100			
5200			
5300			

印刷術の誕生

日本留学僧が長安で刊本を書写(865年)

民間で実用書の出版始まる(883年)

国家事業として儒教經典の出版始まる(932~53年)



- 五代
- 後梁 907~23
 - 後唐 923~36
 - 後晋 936~47
 - 後漢 947~51
 - 後周 951~60

地方政権の出版事業

蜀の地は唐末以来、学校が荒廃していた。母昭裔①は私財を投げうって学校を再建するとともに、後蜀の後主②に願い出て**九経**を出版した。

【解説】

①母昭裔（ぶしょうえい）は、河中竜門（現在の山西河津県）の人。生没年不詳。五代十国時代の後蜀に仕えた文人官僚。

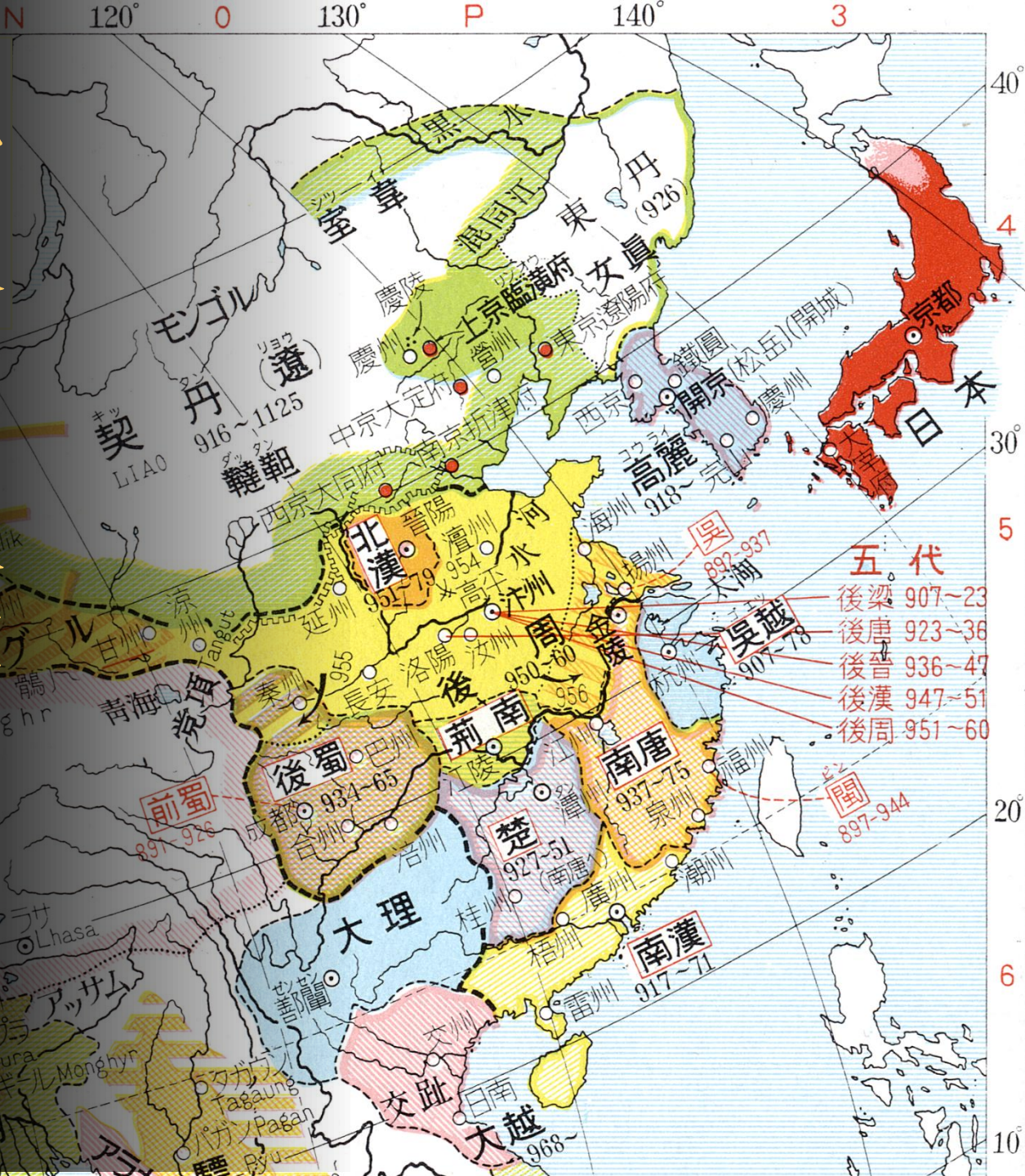
②後蜀の第二代皇帝・孟昶（ちよう九一九〜六五）

十国春秋・母昭裔②伝

地方政権の出版事業

母丘儉(昭裔)は、貧しかったころ、友人から『文選』を借りようとして、嫌な顔をされたことがあった。母はこれに発奮し、「いつか富貴の身になったら、これを出版して学生たちに与えよう」と誓った。その後、後蜀に仕えて宰相になると、誓いのとおりこれを出版した。

(宋)王明清揮塵余話卷二所引五代史補



儒教經典が国家事業として出版される以前、定本となるテキストはどのようなにして公布されていたのか？



- 五代
- 後梁 907~23
 - 後唐 923~36
 - 後晋 936~47
 - 後漢 947~51
 - 後周 951~60

吳越

907~78

吳越

907~78

吳越

907~78

吳越

907~78

吳越

907~78

儒教經典の定本・石經

漢代に儒教が国教化されると、歴代王朝は儒教經典の定本を石碑として建立した。

後漢の熹平石經（洛陽）、魏の正始石經（洛陽）、唐の開成石經（長安）、五代後蜀の蜀石經（成都）、北宋の嘉祐石經（開封）、南宋の紹興石經（杭州）、清の乾隆石經（北京）などがある。



（唐）開成石經（西安碑林博物館蔵）

1600BC
1500BC
1400BC
1300BC
1200BC
1100BC
1000BC
900BC
800BC
700BC
600BC
500BC
400BC
300BC
200BC
100BC
0
100
200
300
400
500
600
700
800
900
1000
1100
1200
1300
1400
1500
1600
1700
1800
1900
2000

殷 1600BC頃-1046BC

周 1046BC-771BC

春秋戦国時代 770BC-221BC

秦 221BC-207BC

漢 206BC-220AD

魏 220-265 蜀 221-263 吳 222-280

晋 265-316

五胡十六国時代 東晋 317-420

北朝 439-589 南朝 420-589

隋 581-619

唐 618-907

五代十国 907-960

遼 北宋 960-1127

金 1115-1234 南宋 1127-1279

元 1271-1368

明 1368-1644

清 1616-1912

中華民国 1912-1949

中華人民共和国 1949-

五代十国時代
(907-960)

「唐宋変革期」

唐代以前—門閥貴族が政治の実権を握る

五代十国時代—門閥貴族が没落し文人官僚が実権掌握

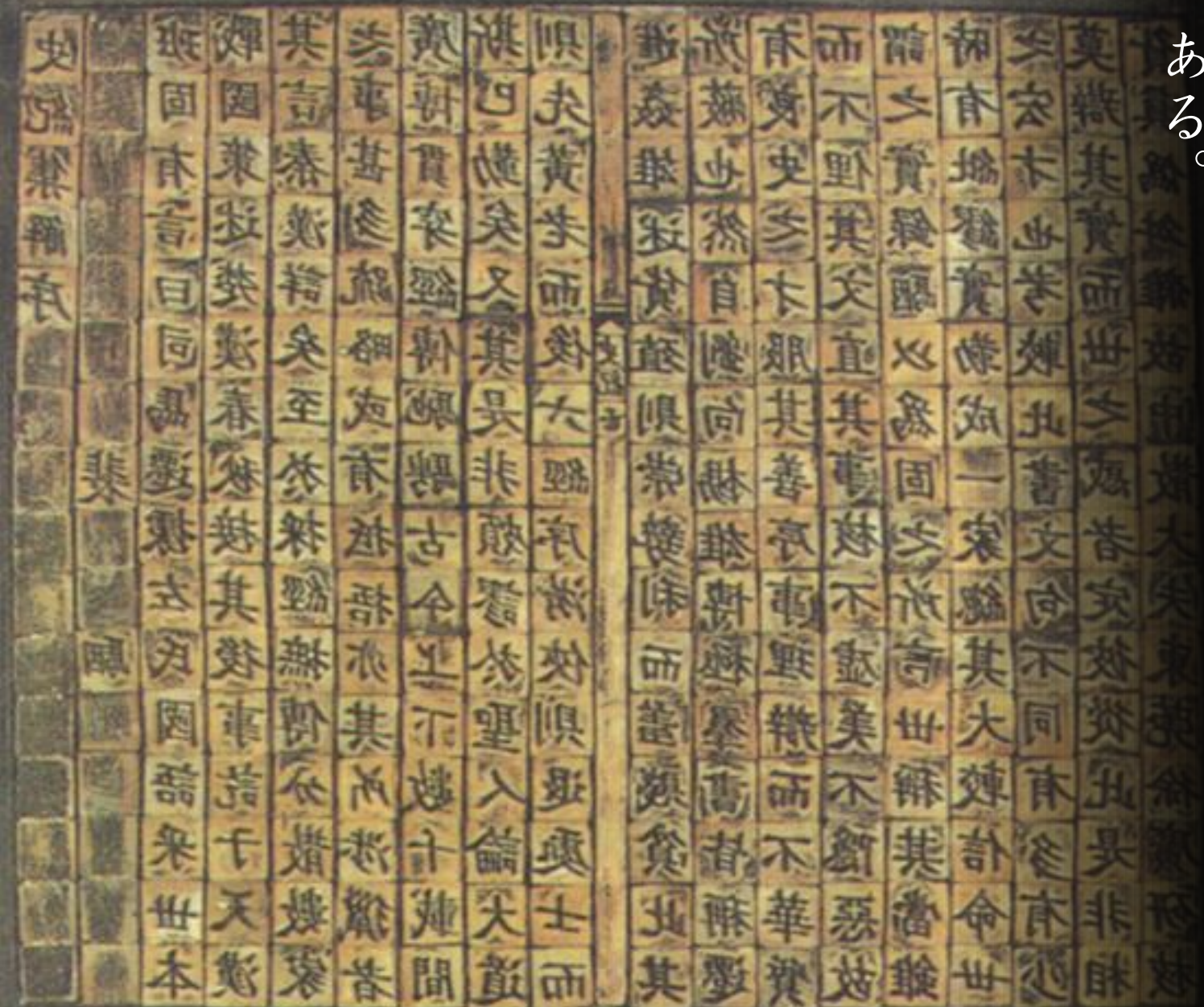
宋代以降—皇帝の独裁体制が確立



活字印刷の発明

中国では五代十国時代に本格化した雕版印刷(版木を使った印刷)に続き、北宋時代の十一世紀半ばには、活版印刷(活字を使った印刷)も発明されていた。

十五世紀半ばにドイツのグーテンベルクが金属活字を使って四十二行聖書を印刷する四百年も前のことである。



民間での書籍出版の始まり

殷 1600BC頃-1046BC

周 1046BC-771BC

春秋戦国時代 770BC-221BC

秦 221BC-207BC

漢 206BC-220AD

魏 220-265 蜀 221-263 吳 222-280

晋 265-316

五胡十六国時代 東晋 317-420

北朝 439-589 南朝 420-589

隋 581-619

唐 618-907

五代十国 907-960

遼 北宋 960-1127

金 1115-1234 南宋 1127-1279

元 1271-1368

明 1368-1644

清 1616-1912

中華民国 1912-1949

中華人民共和国 1949-

印刷術の誕生

日本留学僧が長安で刊本を書写(865年)

民間で実用書の出版始まる(883年)

国家事業として儒教經典の出版始まる(932~53年)

畢昇が活字印刷を発明(1041~48年)

活版印刷の發明

書籍の印刷出版は、唐代にはまだ盛んには行われていなかったが、(五代十国時代の)馮道が始めて(儒教經典の)五經を印刷して以来、書籍はみな版本となった。

(北宋時代の)慶曆年間(一〇四一〜四八年)には、民間の畢昇という人物が活版印刷を行つた。小異如奕棋古局用十七道合二百八十九道黑白其各百五十亦與後世法不同

(宋)沈括『夢溪筆談』卷十八技芸

算術多門如求一上驅搭因重因之類皆不離乘除唯增成一法稍異其術都不用乘除但補虧就盈而已假如欲九除者增一便是八除者增二便是但一位一因之若位數少則頗簡捷位

數多則愈不若乘除之有常然算術不思

學見簡卽用見繁卽變不膠一法乃爲通術也

板印書籍唐人尚未盛爲之自馮瀛王始印五經

已後典籍皆爲板本慶曆中有布衣畢昇又爲

活板其法用膠泥刻字薄如錢唇每字爲一印

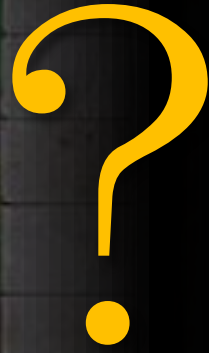
火燒令堅先設一鐵板其上以松脂臘和紙灰

之類冒之欲印則以一鐵範置鐵板上乃密布

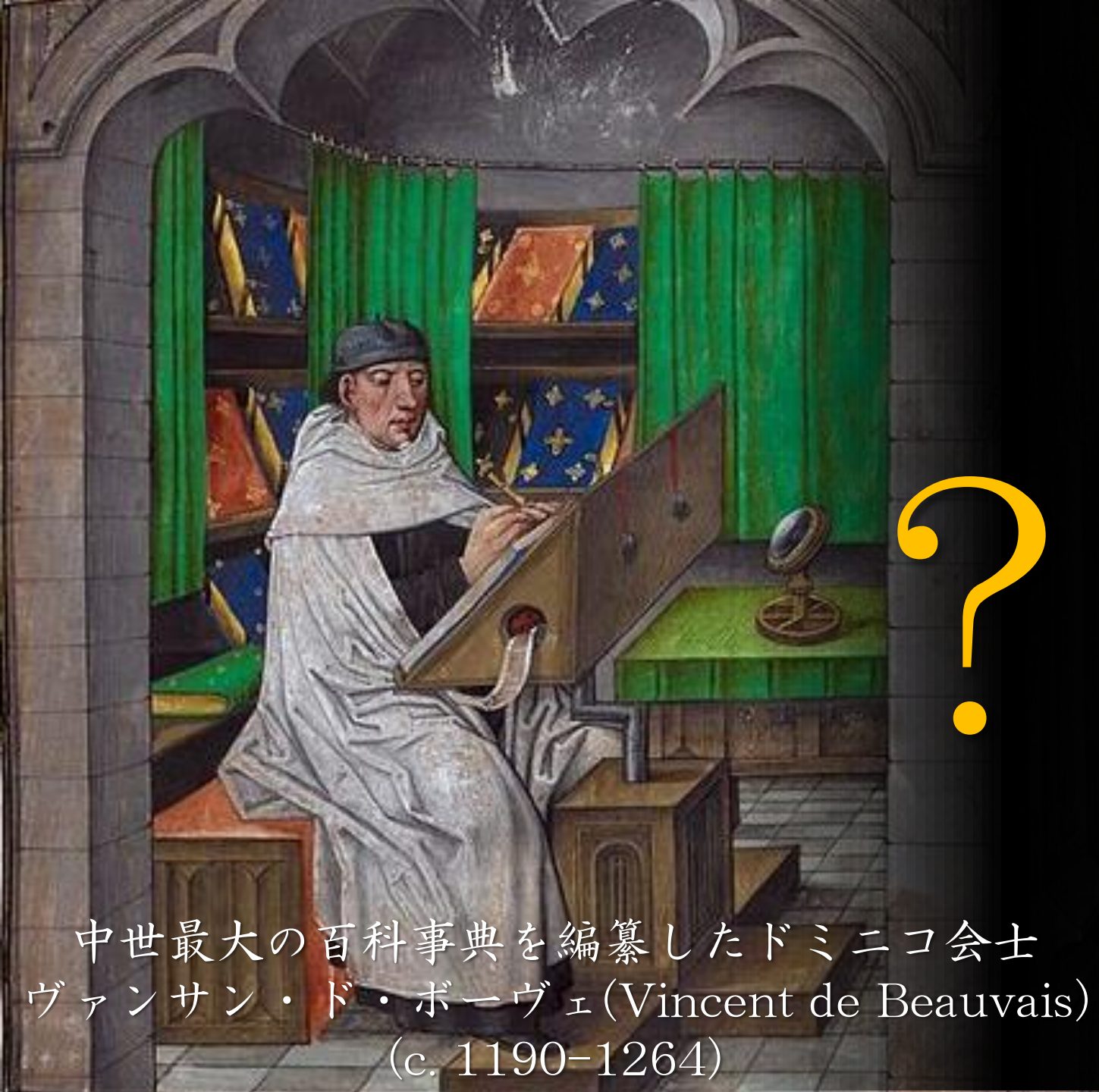
字印滿鐵範爲一板持就火煬之藥稍鎔則以

一平板按其面則字平如砥若止印三二本未

東アジアで誕生した印刷術と
書籍出版は、いつごろヨーロッ
パに伝わったのか？



中世最大の百科事典を編纂したドミニコ会士
ヴァンサン・ド・ボーヴェ(Vincent de Beauvais)
(c. 1190-1264)



民間での書籍出版の始まり

殷 1600BC頃-1046BC

周 1046BC-771BC

春秋戦国時代 770BC-221BC

秦 221BC-207BC

漢 206BC-220AD

魏 220-265 蜀 221-263 吳 222-280
晋 265-316

五胡十六国時代 東晋 317-420

北朝 439-589 南朝 420-589

隋 581-619

唐 618-907

五代十国 907-960

遼 北宋 960-1127

金 1115-1234 南宋 1127-1279

元 1271-1368

明 1368-1644

清 1616-1912

中華民国 1912-1949

中華人民共和国 1949-

印刷術の誕生

日本留学僧が長安で刊本を書写(865年)

民間で実用書の出版始まる(883年)

国家事業として儒教經典の出版始まる(932~53年)

畢昇が活字印刷を発明(1041~48年)

ドイツでグーテンベルクが聖書を活版印刷(1455年)

東アジアとヨーロッパにおける印刷術と書籍出版の発展

ドイツでグーテンベルクが
四十二行聖書を活版印刷(1455年)

新羅の都・慶州の仏国寺に釈迦塔
が建立され、無垢浄光大陀羅尼經
の木版本が奉納される
(704年～751年?)

唐代に印刷術が誕生
五代に国家事業として書籍出版
北宋代に活字印刷が誕生

ヨーロッパで宗教版画が
木版印刷される
(14～15世紀)

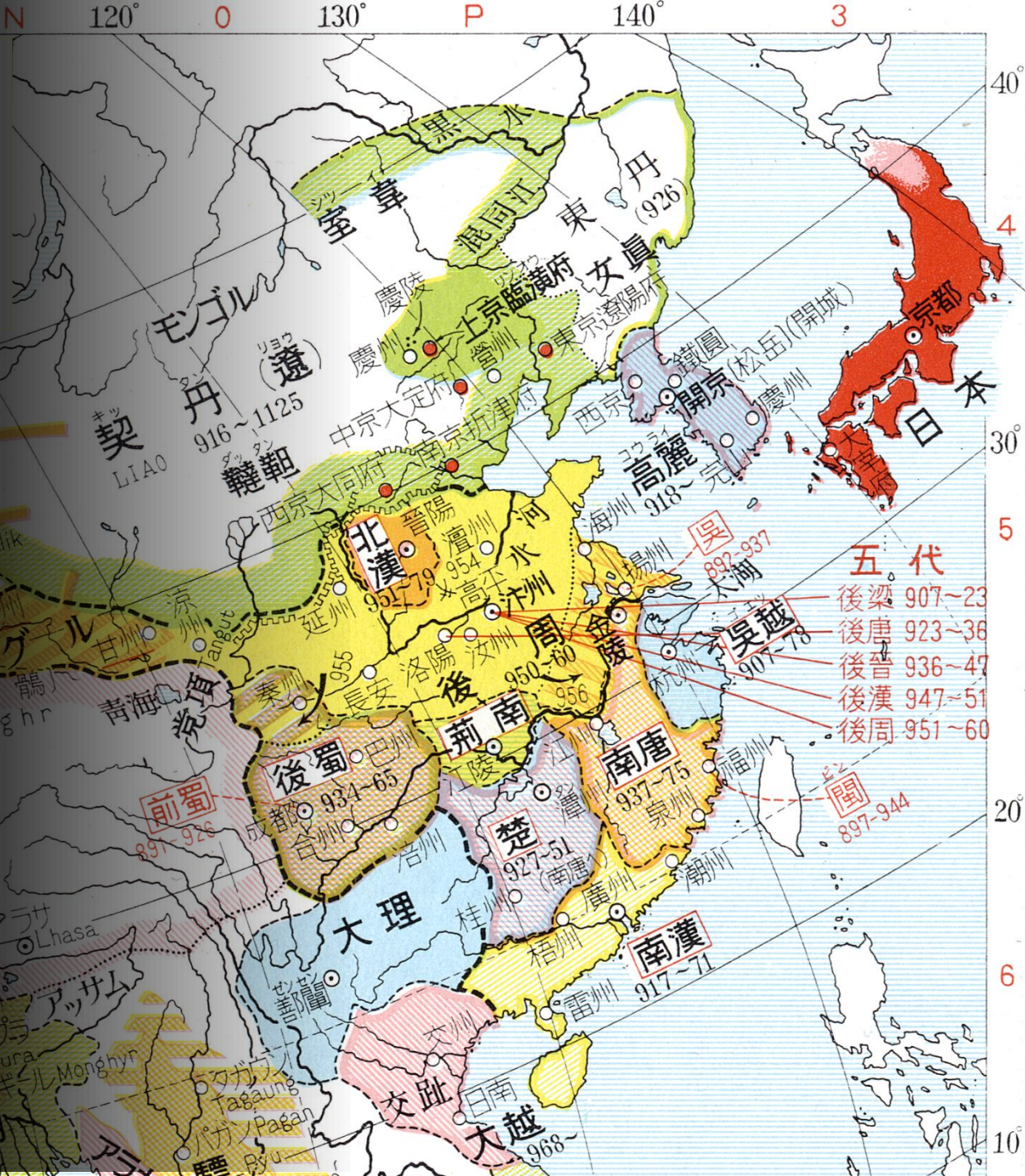
称徳天皇が無垢浄光大陀羅尼經を
百万枚印刷させ、木製の小塔に納
めて十大寺に分置(764年～770年)

第三節

詞の隆盛

南唐の後主・李煜

芸術と文房四宝を育成した国主
五代十国時代、金陵（現・南京）に都
を置いた南唐は、豊かな江南の地を
支配し、十国中第一の富強を誇った。
九六一年、二四歳で南唐の第三代
国主（後主）となった李煜（九三七〜九
七八）は、庶民の間に芽生えた芸術を
保護育成し、文房四宝と呼ばれる墨、
硯、紙、筆の生産を発展させた。



資料映像：NHKスペシャル「故宮」より

貴族文化から庶民文化へ

唐末から五代十国時代にかけての武人支配の中で、中国の文化は大きな転機を迎える。没落した貴族にかわり、庶民が新たな文化の担い手となったのである。

文学の世界では、従来の格式ばった詩に代わり、庶民の間に生まれた詞と呼ばれる俗謡が流行した。

父・李璟(りけい)とともに南唐二主と呼ばれた李煜は、その悲劇的な生涯を通じて、詞を新たな芸術へと昇華させていった。



詞とは

詞は、わが国の都都逸に似た通俗歌謡で、既存の曲に歌詞をつけるところから填詞または曲子詞と呼ばれ、また一句の長さが不揃いになるところから長短句とも呼ばれた。

格式ばった詩とは異なり、感情をよりストレートに表現できるところに特徴がある。

李煜の詞も、当初は男女の色恋を歌ったものがほとんどであった。





和歌(五・七・五・七・七)

白鳥は

かなしからずや

空の青

海のをにも

染まらずただよふ

若山牧水『海の声』より

都々逸（七・七・七・五）

恋に焦がれて
鳴く蝉よりも
鳴かぬ螢が
身を焦がす

江戸中期の民謡集
『山家鳥虫歌』より

都々逸(七・七・七・五)

打ち明け話が
ぽつりと止んで
あとを引き取る
雨の音

李煜と虞美人の詞

李煜の詞は、その後、彼を襲った苛酷な運命によって大きく変わっていく。

九七五年、李煜が三八歳の時、南唐は北宋の攻撃を受け、滅亡した。俘虜として北宋の都・汴京（開封）に送られた李煜は、遥か東にある故国を思い、一闋（けつ）の詞を作った。虞美人の詞である。





虞美人

風迴小院庭蕪綠柳眼春相續凭欄半日獨無言依舊
竹聲新月似當年 笙歌未散樽罍在池面水初解燭
明香暗畫樓深滿鬢清霜殘雪思難禁

詞綜卷二

四

又

春花秋月何時了往事知多少小樓昨夜又東風故國
不堪回首月明中 雕欄玉砌應猶在只是朱顏改問
君能有幾多愁恰似一江春水向東流

臨江仙

櫻桃落盡春歸去蜨翻輕粉雙飛子規啼月小樓西玉
鈎羅幕惆悵暮烟垂 別巷寂寥人散後望殘烟草低
迷爐香閑裊鳳凰兒空持羅帶回首恨依依 蘇子由云
淒涼怨慕

李煜と虞美人の詞

虞美人は題名ではなく、詞牌と呼
ばれる曲名の一つである。

詞はこの既存の詞牌に歌詞をつけ
るところから填詞または曲子詞と呼
ばれ、また旋律に合わせて句の長さ
が揃いになるところから長短句と
も呼ばれた。

（南唐）李煜

虞美人

春花秋月

何時了

往事知多少

小樓昨夜又東風

故國不堪回首

月明中

雕欄玉砌應猶在

只是朱顏改

問君能有幾多愁

恰似一江春水

向東流

李煜と虞美人の詞

宋の王銍の『默記』によれば、亡国の悲しみを込めて歌ったこの詞は、宋の太宗の逆鱗に触れ、李煜は七月七日の誕生日に毒酒を下賜され、四一年の生涯を閉じたという。

見李煜否鉉對以臣安敢私見之上曰卿第見但言朕令卿往相見可矣鉉遂徑往其居望門下馬但一老卒守門徐言願見太尉卒言有旨不得與人接豈可見也鉉云奉旨來見老卒徃報徐入立庭下久之老卒遂取舊椅子相對鉉遙見謂卒曰但正衙一椅足矣頃間李王紗帽道服而出鉉方拜而遽下階引其手以上鉉辭賓主之禮李王曰今日豈有此禮徐

引椅少偏乃敢坐後主相持大笑乃默坐不言忽長吁歎曰當時悔殺了潘佑李平鉉旣去有旨召對詢後主何言鉉不敢隱遂有秦王賜牽機藥之事牽機藥者服之前卻數十回頭足相就如牽機狀也又後主在賜第七夕命故妓作樂聲聞于外太宗聞之大怒又傳小樓昨夜又東風及一江春水向東流之句併坐之遂被禍云

張茂實太尉章聖之子尚宮朱氏所生章聖畏懼劉后凡後宮生皇子公主俱不留以與內侍張景宗令

（南唐）李煜

虞美人

春は花 秋は月 終わりになき世に
過ぎ去りしこと いくばくぞ
小楼は昨夜も又 春風のたつ
故国はふりかえるに堪えず
月明りの中

玉の手摺 石畳 昔のままに
ひとりわが顔（かんばせ）のうつろう
つもる愁い いくばくと 人問わば
さながら春の江の水の
東に流るるよう

まとめ

一．唐末から五代十国時代へと続いた武人による支配の中で、門閥貴族は勢力を失い、かわって庶民から身を起こした科挙出身の文人官僚が政治の実権を握るようになった。

二．文人官僚たちは、身分や家柄に係ない実力本位の社会を守るため、唐末に民間で発達した印刷技術を使って知識の普及につとめ、中国はヨーロッパよりも五百年以上も早く、書籍出版の時代を迎えた。

三．文学の世界では格式ばった旧来の詩にかわって、庶民の間に生まれた詞が人々の心をとらえた。

参考文献

- 一. T・F・カーター著、藪内清・石橋正子
訳注『中国の印刷術とその発明と西伝』
(平凡社東洋文庫、一九七七年)
- 二. 潘吉星著『中国古代四大発明とその源流・外
伝及世界影響』(中国科学技術大学出版社、
二〇〇二年)
- 三. 韓国図書館学研究会編『韓国古印刷史』
(同朋社、一九七八年)
- 四. 日本印刷学会西部支部百万塔陀羅尼研究
班編『百万塔陀羅尼の研究』(八木書店、
一九八七年)
- 五. 中根勝『日本印刷技術史』(八木書店、
一九九九年)
- 六. 倉石武四郎編『中國古典文學大系二〇
宋代詞集』(平凡社、一九七〇年)